

平成28年度 授業改善結果の検証について

学校名 日本橋中学校

校長名 平松 功治

| | | |
|------------------------|--|---|
| <p>授業改善の 基本方針</p> | <p>取組範囲 (○) 全教科・() 学習力サポートテストの教科・() 重点教科</p> <p>・基礎学力の定着と確かな学力の向上を図るために、個に応じたきめ細かな学習指導を行う。家庭学習を習慣化させる。社会性を育成する。</p> <p>・研修を通して、生徒の社会的スキル・学習スキルの向上や、教師の授業スキル・授業改善や評価についての研究を深めるとともに、OJT体制を活用した学習指導力の向上を図る。</p> | |
| <p>授業改善の 主な取組</p> | <p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組</p> <p>200字作文、予習プリントの活用、ペアによる他者評価(言葉活動)、ICT機器の活用、班での話し合いの時間、デジタルコンテンツの活用、英会話で重要文法の繰り返し、ワークシートの活用、放課後の指導、地域や自国の文化理解を深める教材、体力テストの結果活用、板書や掲示物等の見直し</p> | <p>成果または課題</p> <p><成果> 日常で使う言葉の類義語が定着してきた。問題解決型の学習を展開できた。レポートに自分の考えや考察を書くことができたようになった。地域や自国文化や伝統について理解が深まった。</p> <p><課題> 相互批評の回数が少なかった。視聴覚教材をもっと活用する。生徒作品の掲示計画。作業内容の説明をより簡潔に行うこと。</p> |
| <p>個に応じた 指導の工夫</p> | <p>重点的に取り組んだ指導の工夫</p> <p>生徒が書いた文章を赤字で添削、時事問題を取り上げたスピーチ、レポート作成、週末課題、実験を少人数で実施、作業が早い生徒への発展的な課題、単元ごとの小テスト、発問の工夫、巡回指導、領域別の授業アンケート、課題ごとにリーダーの選出やグループを編成、放課後の補習</p> | <p>成果または課題</p> <p><成果> 毎時間スピーチを実施することで、時事問題に目向け見解を述べることができた。小テストや放課後の補習により苦手意識が緩和した。個人の技能の向上につながった。視覚的教材を活用することができた。</p> <p><課題> 読書感想文であらすじの分量が多い。積極的に表現活動ができない生徒へのアシスト。</p> |
| <p>授業改善の 検証方法</p> | <p>検証として取り組んだ項目に○を付けてください。</p> <p>(○) 管理職による授業観察の検証</p> <p>(○) 教員相互での授業参観による検証</p> <p>(○) 校内研究での検証(研究授業等含む)</p> <p>(○) 学習力サポートテスト、定期テスト等の結果による検証</p> <p>(○) 作品や提出物の評価による検証</p> <p>(○) 学校評価における教員の自己評価の検証</p> <p>(○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証</p> <p>() 外部評価委員会における検証</p> <p>() その他< ></p> | |
| <p>授業改善の 主な結果</p> | <p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p><児童・生徒></p> <p>(○) 学習意欲がより高まった。</p> <p>(○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。</p> <p>(○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。</p> <p>(○) 学力(学習の到達度)の向上が図られた。</p> <p><教員></p> <p>(○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。</p> <p>(○) 授業の指導技術が向上した。</p> <p>(○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。</p> <p>() その他< ></p> | |